

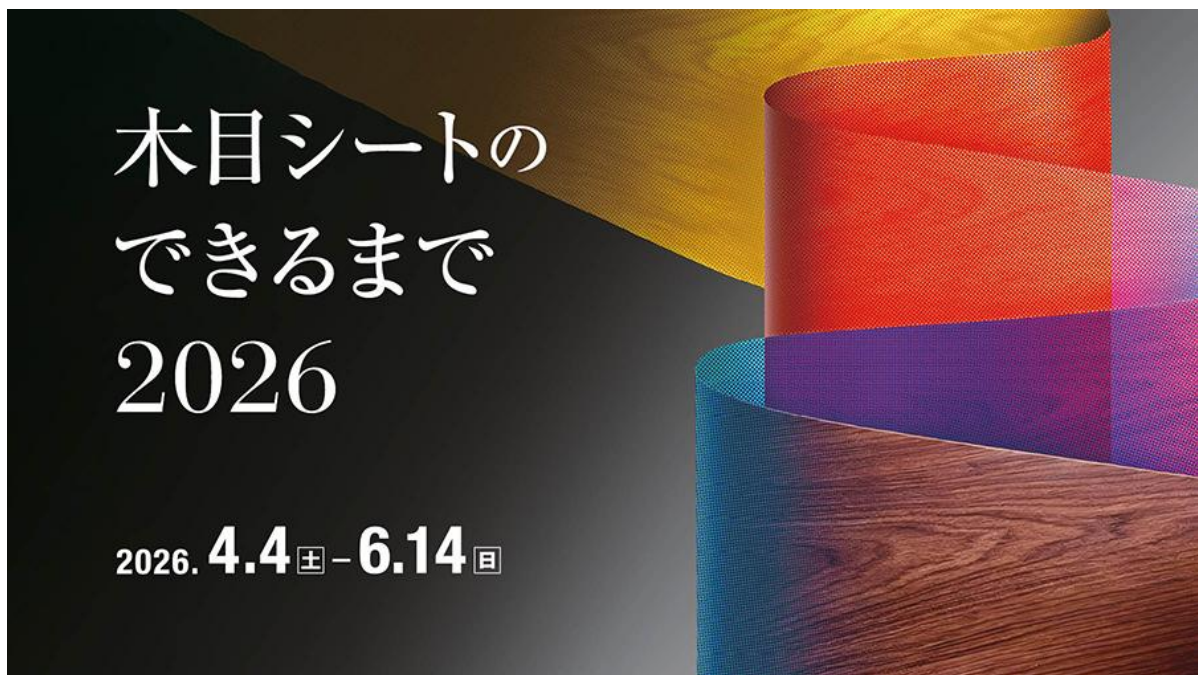
News Release

「木目シートのできるまで2026」展 開催

印刷博物館 P&P ギャラリーでは、4月4日（土）より「木目シートのできるまで2026」展を開催します。

本展では、建装材や家具などに広く利用されている木目シートが、市場調査から、サーフェスデザイン（壁・床・建材などの表面に意匠を施し、質感や風合いを再現する）、グラビア製版・印刷、加工を経て、「できるまで」を、実物資料とともに展示します。心地よさとサステナビリティを両立させる素材選び、木目や石目などの自然物を精密に再現できる緻密な質感設計と意匠性、傷や汚れに強い高い機能性など、“印刷”だからこそ実現できる木目シートの多様な側面を探ります。

生活のいたるところに彩りを与え、時代に合わせてますます高まる木目シートの価値を紹介します。



■ 開催概要

会期：2026年4月4日（土）～2026年6月14日（日）

会場：印刷博物館 P&P ギャラリー

東京都文京区水道1丁目3番3号 TOPPAN 小石川本社ビル

開館時間：10:00-18:00

休館日：毎週月曜日（5月4日は開館）、5月7日（木）

入場料：無料（印刷博物館地下展示室にご入場の際は入場料が必要です）

ウェブページ：<https://www.printing-museum.org/collection/exhibition/g20260404.php>

主催：TOPPAN ホールディングス株式会社 印刷博物館

■ 展示内容

I 木目シートとは？

木目シートとは、「化粧シート」と呼ばれる印刷物の一つです。化粧シートは、木目や石目、抽象的な柄などを印刷した薄いシートで、基材の表面に貼ることで本物のような質感やデザイン、傷や汚れに強い高い機能性を付与できる建装材です。

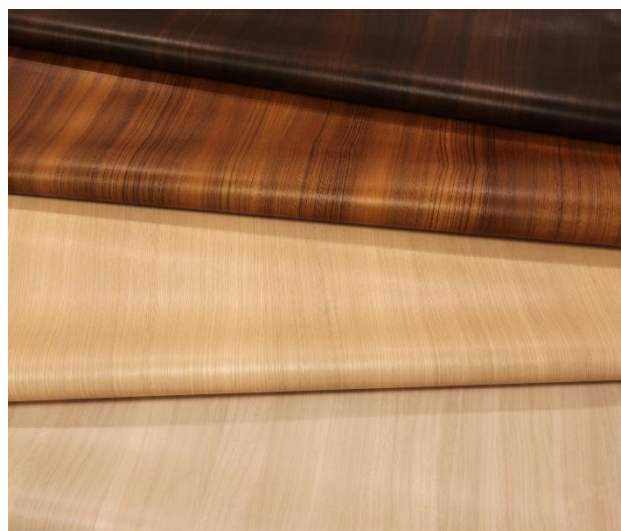
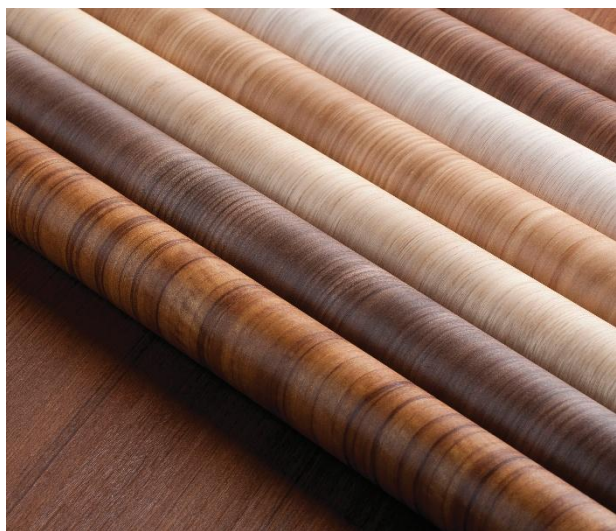
1950年代後半、住宅の近代化と需要が拡大するのに伴って、印刷産業は建装材分野に広がっていきました。現在、化粧シートは住宅や店舗、オフィスなど、様々な空間の床・壁・家具・什器などに広く使われています。

II 木目シートのできるまで

私たちの身近にある住宅の床や壁、家具に使われている木目シート。それは単なる「木目」のコピーではなく、膨大な調査と緻密な技術から生まれた「デザイン」の結晶です。木目シートの製造にあたっては、グローバルな視点でのトレンド分析から、市場に合わせたデザインの制作、そして特殊な表面加工に至るまで、一貫したものづくりが行われています。本展示では、TOPPANで建装材事業に携わるデザイナーの本物の木を超えようとする情熱と、高度な印刷テクノロジーが織りなす「木目デザイン」の舞台裏を、デザインの制作工程とともに紹介します。

III いろんなところに木目シートが！

木目シートは、住宅や店舗、オフィスなど、私たちの暮らしのあらゆる場所で使われています。床や壁、家具や什器、その一つひとつに、空間をつくるサーフェスデザインの意図と、それを実現する印刷技術の積み重ねがあります。見た目の美しさだけでなく、耐久性まで考え抜かれた設計が、空間を静かに支えています。



木目シート

*印刷博物館はTOPPANホールディングス株式会社が創立100周年を記念し、2000年に設立した公共文化施設です。

*本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上